個人投資家向け

# 会社説明資料

2025年9月4日(木)

ダイト株式会社

(東証プライム市場　証券コード 4577)

Copyright  Daito Pharmaceutical Co., Ltd.

# スピーカー 自己紹介

**代表取締役社長 兼 CEO**

まつもり　ひろし
## 松森 浩士

生年月日　1956年7月24日

略歴、地位および担当ならびに重要な兼職の状況：

| | |
|---|---|
| 2013年 4月 | ファイザー株式会社 取締役執行役員<br>エスタブリッシュ医薬品事業 |
| | アジアパシフィック地域戦略担当 バイスプレジデント |
| 2013年12月 | SBIバイオテック株式会社 代表取締役社長 |
| 2016年 4月 | テバ製薬株式会社(現 武田テバファーマ株式会社） CEO兼社長 |
| 2023年 8月 | 当社 取締役副社長 経営戦略担当 兼 管理本部長 就任 |
| 2024年 1月 | 当社 代表取締役副社長 経営戦略担当 兼 管理本部長 就任 |
| 2024年 8月 | 当社 代表取締役社長 就任 |
| 2025年 1月 | 当社 代表取締役社長 兼 CEO 就任（役職変更） |

Copyright Daito Pharmaceutical Co., Ltd.

# 目次


I. 会社概要 p. 4

II. ダイトの強み p. 9

III. 中期経営計画「DTP2027」 p. 15

Appendix. その他参考資料 p. 28

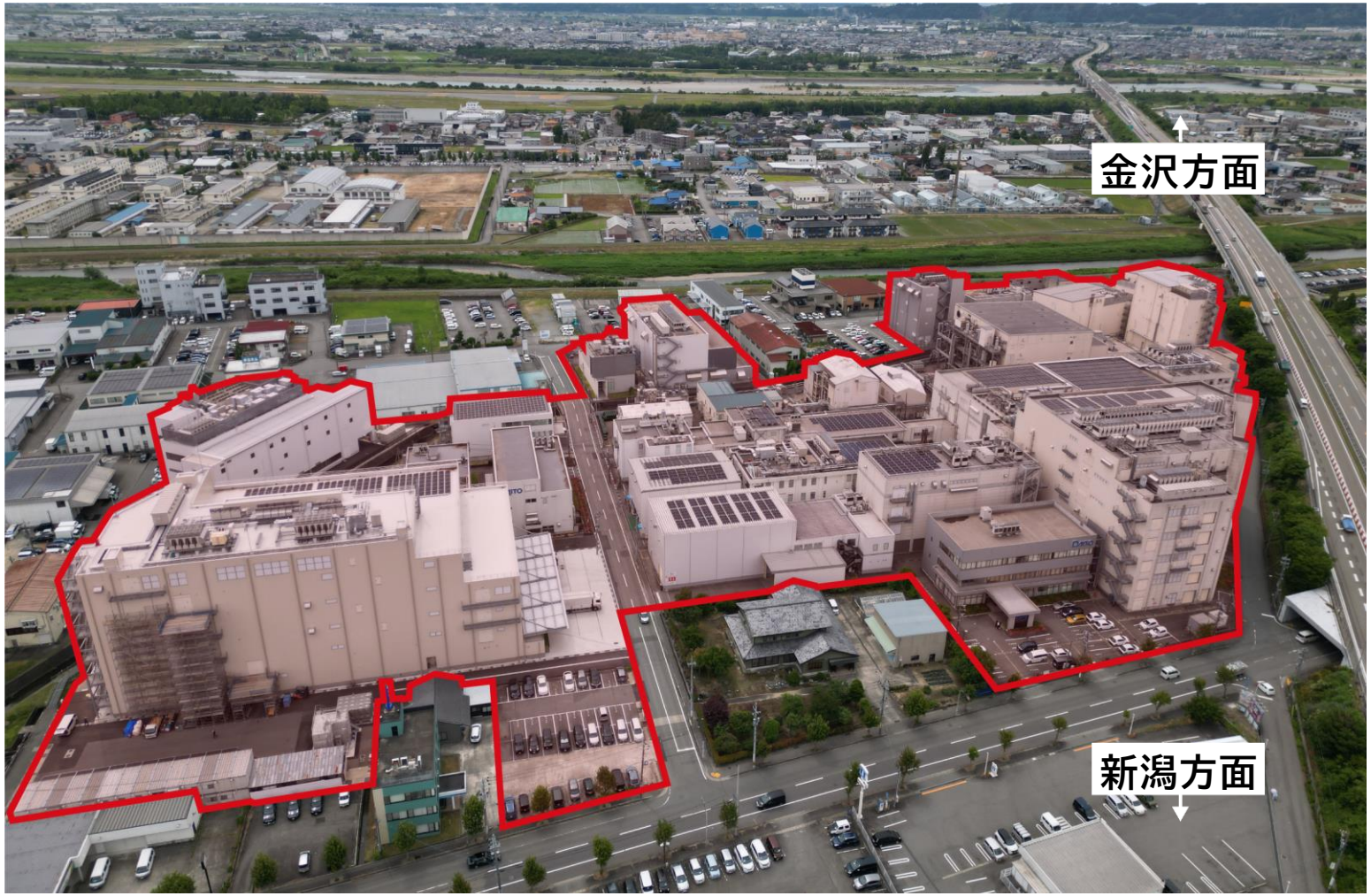

Copyright Daito Pharmaceutical Co., Ltd.

# Ⅰ. 会社概要

# ダイト本社 全景

## 本社・本社工場・研究所

## 工場敷地面積：約35,000㎡




### 立地条件

富山IC …… 車で約3分

富山きときと空港 …… 車で約8分

富山駅 …… 車で約25分

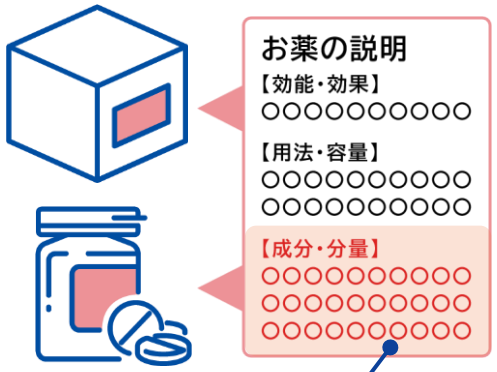
Copyright Daito Pharmaceutical Co., Ltd.

# 「原薬」「製剤」とは

## 原薬とは

医薬品を製造するための原材料であり、
一般には、**医薬品の中に含まれる有効成分のこと**

医薬品の製剤のなかの
**効き目の成分＝原薬**




**原薬はここに
表記されています**

## 製剤とは

原薬に乳糖やでんぷん等の添加剤を加え、
錠剤や顆粒剤などに加工された医薬品のこと。

## 原薬

化学プラントのような
反応設備で製造

## 原薬

異物混入対策が求められるため、
包装工程など下流工程は
クリーンルームで実施

## 製剤

複数の種類の原料を混ぜ、
打錠機で押しつぶして製造

Copyright Daito Pharmaceutical Co., Ltd.

# 会社概要 － 数字で見るダイト

## 売上高

**506億円**

創業来初の売上高：500億円を突破

## 創業

**1942年6月**

2010年東京証券取引所 第2部上場
（2011年同1部、2022年プライム市場）

## 年間生産錠数

**約30億錠**
（2025年5月期実績値）

（日本人一人当たり、およそ年間24錠）

## 原薬:製剤の売上比

**45:54**



（その他 0.3%）

## 従業員数

**1,073名**

（平均臨時雇用者数 42名 外数）
（連結、2025年5月31現在）

## ジェネリック医薬品の供給による医療費削減効果

**425億円**
（2025年5月期出荷数量ベース）



増え続ける社会保障費の削減に寄与

## 原薬等登録原簿（マスターファイル）（MF）登録件数

**106件**
**化学品では日本一の件数**

（2025年5月現在。子会社、
グループ会社の登録件数を含む。）

## 信頼性保証部門 人員数

**220人**



ダイト総従業員数（単体）の約22%にあたる
（2025年6月1日現在、単体、臨時雇用者数を含む）

## MR数

**0人**

製造に経営資源を集中
医療機関に医薬品の情報を提供し、
販売する医薬営業担当者（MR）の在籍数は0人

DAITO Copyright Daito Pharmaceutical Co., Ltd.

# 当社創設以来の売上高推移

## 事業変遷における主要なターニングポイント

- A 原薬卸業部門を開設し、原薬の販売を開始
- B 医療用医薬品（ジェネリック医薬品）の製造を開始
- C 原薬の製造を開始
- D ダイト株式会社（現社名）に商号を変更
- E 医療用医薬品の受託製造を本格的に開始
- F 東京証券取引所市場第二部に上場
- G 東京証券取引所市場第一部に指定替え
- H 東京証券取引所プライム市場へ移行

Copyright Daito Pharmaceutical Co., Ltd.

# Ⅱ. ダイトの強み

# 3つの強みとジェネリック医薬品市場の拡大により、成長を持続

3つの
強み

原薬から製剤までの
**一気通貫生産**

中国コスト・
日本品質を実現する
**日中連携**

FDA(米国食品医薬品局)
査察にも対応する
**業界
トップクラスの
品質保証体制**

**政府方針によるジェネリック市場拡大**

- 市場のジェネリック数量シェアは80%超へ
- 当社のジェネリック関連売上は約70%

**ジェネリック医薬品市場
拡大の追い風を、
積極的な投資によって捉え、
連続成長を果たしてきた**

Copyright Daito Pharmaceutical Co., Ltd.

# 強み1 - 原薬から製剤までの一気通貫生産

## OUR ADVANTAGE

「**原薬から製剤の一気通貫生産**」が可能な体制のもと、国内外の医薬品メーカーと幅広く取引を行っております。

Copyright Daito Pharmaceutical Co., Ltd.

# 強み2 - 日中連携

## OUR ADVANTAGE

世界最大の原薬生産・原薬輸出国である中国においても「**原薬から製剤の一気通貫生産**」体制を敷いており、この「**日中連携**」は当社の大きな強みとなっている

**日本品質・中国コスト、強力な原薬の安定供給体制など、**
**他社が追随できない「独自資源」を保有**

Copyright Daito Pharmaceutical Co., Ltd.

# （参考）日中連携による一気通貫製造とサプライチェーン

# 強み3 - 業界トップクラスの品質保証体制

- 高度な品質保証体制に裏付けられた高い安定供給力
- 継続した「クオリティカルチャーの醸成」への取り組み
- 現場からトップまで風通しの良い文化
- 世界で最も厳しいと言われるFDA（米国食品医薬品局）の査察を過去30年以上継続的にクリア

（ジェネリック医薬品の信頼性確保に関する対応状況）

- 後発医薬品の製造販売承認書と製造・試験実態の整合性に関わる点検（2024年10月3日）
  ⇒118品目について、自主点検完了

- 製造販売承認書の再チェック（2021年11月6日）
  ⇒115品目について、重要な齟齬なし

※GMP（Good Manufacturing Practice）：医薬品製造者に求められる製造管理・品質管理基準

Copyright Daito Pharmaceutical Co., Ltd.

# Ⅲ. 中期経営計画「DTP2027」

# 中計のコンセプト

## シン・ダイト の確立

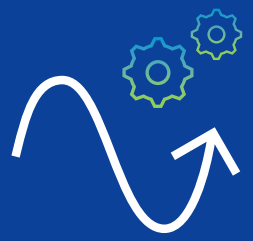
「芯」を定めて「真」に取り組み、
品質と安定供給での「信」頼と「信」用を高める既存ビジネスと
「新」領域に参入し、「進」化と「伸」長を求める新規ビジネス

Copyright Daito Pharmaceutical Co., Ltd.

# ダイト事業戦略　5つの柱

## ダイト事業戦略 | 5つの柱

1



既存ビジネスの効率化

2

中国ビジネスの強化

3

新規ビジネスへの参入

（オーファン新薬アライアンス）

4

PBR1倍割れ対策と資本配分の高度化

5

人的資本への投資

Copyright Daito Pharmaceutical Co., Ltd.

# 【柱1】既存ビジネスの効率化 － 少量多品種構造からの脱却に向けて

## Meiji Seika ファルマとの「新・コンソーシアム構想」実現に向けた協議の開始

## 品目統合の流れを加速させる自由参加型の複数企業アライアンス

### ■6月4日付　両社同時プレスリリース

左：Meiji Seika ファルマ　小林社長（現会長）

### ■「新・コンソーシアム構想」が目指す「基幹工場化」

Copyright Daito Pharmaceutical Co., Ltd.

# 【柱2】中国ビジネスの強化 － 生産能力の拡大

## STEP1 既存別建屋の活用 完 了

- 元々製剤棟1Fにあった倉庫機能の一部、事務機能を別建屋に移転
- 製剤棟1Fの品質試験機能を拡充、同2Fに中国製品向けの包装設備を新規導入
- 一定レベルの生産・品質管理機能の増強を図る

NEXT･･･

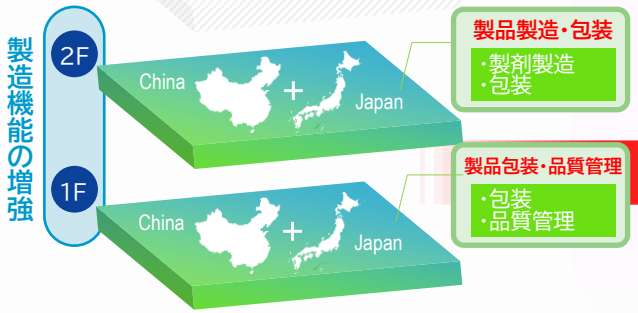
## STEP2 3F･4F 将来スペースへの増設

- 自社品目の生産・販売が順調で、STEP1 の設備で今後の受託品目への対応が困難となる場合
- 3F･4F 将来スペースへの生産設備導入により製造機能の大幅増強を図る

製剤棟 ＋ 別建屋 活用

### 生産増強に備えた品質管理部門の拡充

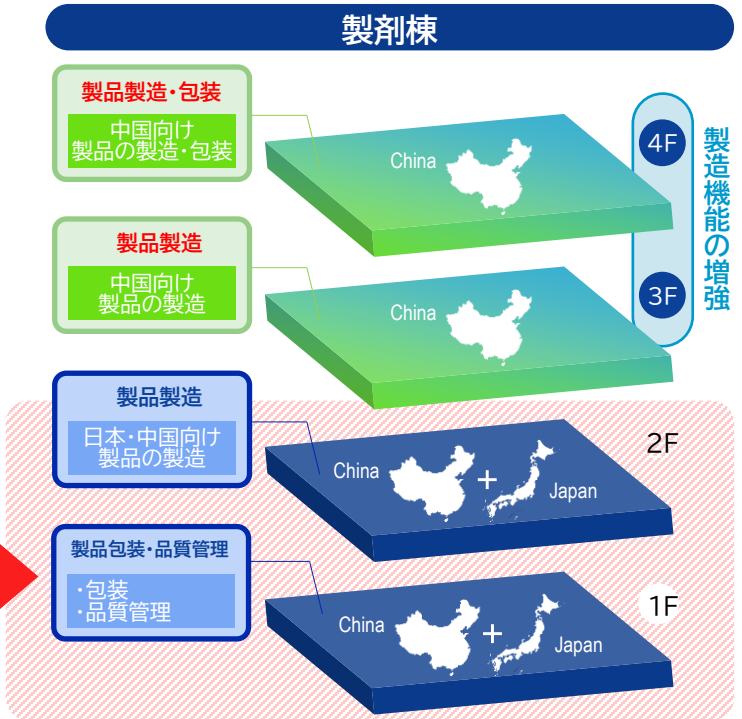
- 最大13品目の生産に備え、ボトルネックの1つとなる品質管理部門の拡充を実施
- 従来、日本国内向け受託では行っていなかった包装工程の実施に備え製剤棟2Fに、包装ラインを新設



包装ライン

品質管理部門の増強

包装設備導入、品質管理機能の増強




Copyright Daito Pharmaceutical Co., Ltd.

# 【柱2】中国ビジネスの強化 － 自社ジェネリック製剤の初出荷と今後の開発計画

## 今後の開発スケジュール

| SCHEDULE | FY2024 | | FY2025 | | FY2026 | | FY2027 | | FY2028 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 上期 | 下期 | 上期 | 下期 | 上期 | 下期 | 上期 | 下期 | 上期 | 下期 |
| 自社品目1<br>プレガバリンカプセル | 完 開発着手 | 完 申請 | | | 完 承認・上市 | | | | | |
| 自社品目2 | 完 開発着手 | | 完 申請 | | | 承認・上市 | | | | |
| 受託品目1 | | | 完 申請 | | | | 承認・上市 | | | |
| 受託品目2 | | | | 申請時期検討中 | | | | | | |
| 受託品目3 | | | 完 申請 | | | | 承認・上市 | | | |
| 受託品目4 | | | 完 申請 | | | | 承認・上市 | | | |
| 受託品目5 | | | 完 申請 | | | | 承認・上市 | | | |
| 受託品目6 | | | | | 完 申請 | | | 承認・上市 | | |
| 受託品目7 | | | | | 完 申請 | | | 承認・上市 | | |
| 受託品目8 | | | | | 申請 | | | 承認・上市 | | |
| 受託品目9 | | | | | 申請 | | | 承認・上市 | | |
| 受託品目10 | | | | | 申請 | | | 承認・上市 | | |
| 受託品目11 | | | | | 申請 | | | 承認・上市 | | |
| その他受託品目 | | | | 申請時期検討中 | | | | | | |

2025年5月15日 当社初となる中国における自社ジェネリック製剤の初出荷

**疼痛治療剤「普瑞巴林胶囊(プレガバリンカプセル)」**

出荷式の様子

Copyright Daito Pharmaceutical Co., Ltd.

# 【柱3】新規ビジネスへの参入 – ノーベルファーマとのオーファン新薬の開発

| | ジェネリック | オーファンドラッグ |
|---|---|---|
| 対象疾患 | 生活習慣病や鎮痛薬などが多い | 患者が5万人未満で、難病など |
| 開発成功率 | ◎ 高い | △ ジェネリックに比べれば低いが、一般新薬よりは高い |
| 開発費 | ◎ ～数億円 | ○ 数億円～数十億円（パートナー企業との共同支出） |
| 売上規模・安定度 | × 発売時既にピークアウト、毎年薬価改定により急速に下落 | ◎ 競合が少なく、薬価ダウンしづらい。制度として10年間の独占期間 |
| 薬価 | × 先発医薬品の50%未満 | ◎ 新薬として高薬価が期待 |
| ターゲット市場 | ○ 原則として日本国内のみ | ◎ 日米欧 （＋中国等の新興国） |
| 市場成長 | × 今後は頭打ち | ◎ 右肩上がりでの成長が期待 |
| 生産（設備） | △ 大量販売を前提 | ○ ジェネリックほどは大きくなく、大規模設備が不要 |

## ■第一号案件に係る契約の締結

2025年5月29日付で、ノーベルファーマ社との間で、同社が開発を進める多系統萎縮症（MSA）を適応症とする、ユビキノール含有製剤「NPC-29」の開発基本契約を締結しました。
本製剤を一刻も早く患者様にお届けできるよう尽力してまいります。

**当社の役割**

**臨床試験用製剤や市販製剤の処方検討、製法検討、製造等をはじめ、製造設備の検討・改造・新規投資など**

**第二号案件鋭意進行中**

Copyright Daito Pharmaceutical Co., Ltd.

# 【柱4】PBR1倍割れ対策と資本配分の高度化 － 株主還元政策

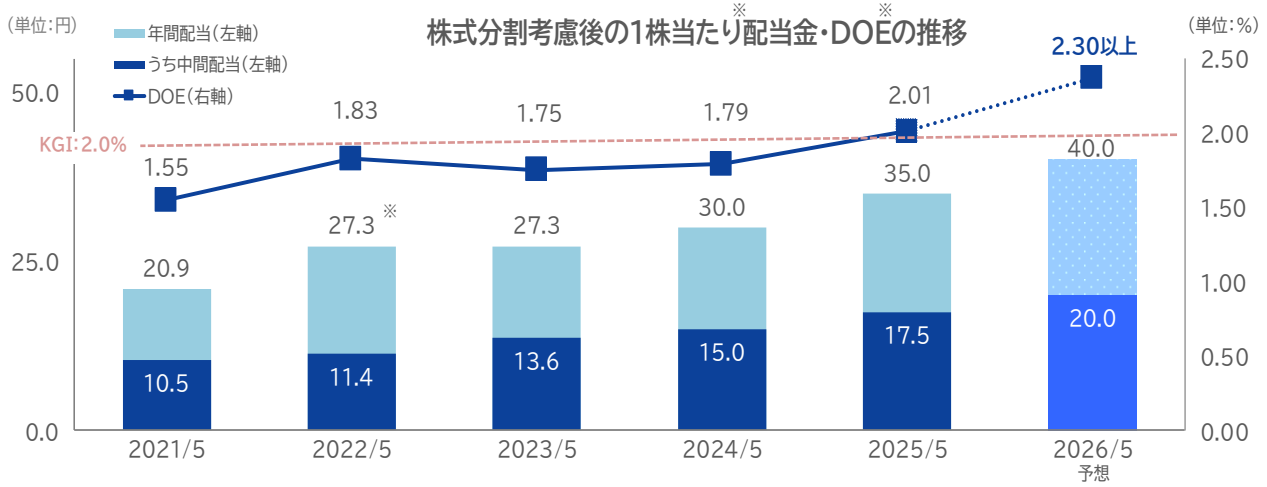
## ■ 自己株式の取得

| 取得期間 | 取得株式総数 | 取得価額の総額 | 消却前発行済株式総数に対する割合 |
|---|---|---|---|
| 2024/1/15 | 160,000 株 | 303 百万円 | 1.0% |
| 2024/4/15～5/13 | 350,000 株 | 868 百万円 | 2.2% |
| 2025/1/14～5/9 | 300,000 株 | 623 百万円 | 2.0% |

## ■ 株式分割と配当方針

| 株式分割日 | 株式分割割合 | 1単元の株式数 | 最低購入代金(8/29終値) |
|---|---|---|---|
| 2025/6/1 | 1株 ⇒ 2株 | 100株 | 122,600円 |

- ✓ 2024年1月から3度に亘り総額約18億円の自己株式の取得・消却を実施。今後も株価推移を見ながら、機動的な自己株式の取得を行える体制を整備します。
- ✓ 流動性の向上と投資家層の拡大を図ることを目的に、2025年6月1日を効力発生日とし、1株につき2株の割合をもって株式分割を実施しております。
- ✓ 当期の配当は、前期比5円増となる1株当たり40円を予定しております。
- ✓ 安定配当方針への更なるコミットメントとして、DTP2027において累進配当政策を決定しております。




※ 2023年9月1日を効力発生日として、1株につき1.1株の割合をもって株式分割を実施。また2025年6月1日を効力発生日として、1株につき2株の割合をもって株式分割を実施。1株当たり配当金については、当該株式分割調整後の数値を記載
※ DOE：Dividend On Equity ratio DOE＝(配当金支払総額)/(株主資本)×100（%）：DOE算出に関し、配当金総額及び期末株主資本を採用
※ 2022年5月期の配当金には記念配当を含む

Copyright Daito Pharmaceutical Co., Ltd.

# 【柱4】PBR1倍割れ対策と資本配分の高度化 － 株主優待制度の導入

2025年7月11日開催の取締役会において、当社の健康食品を特別割引価格で購入できる株主優待制度の導入について決議いたしました

## 株主優待制度の概要

- **基準日**　11月末、5月末（初回は2025年11月末）
- **優待内容**　製薬会社である当社が商品企画し、健康食品[1]の6割引券を贈呈
- **対象株主**　半年以上[2]継続して100株以上：1個、半年以上継続して500株以上：5個

### 優待対象01

| | |
|---|---|
| 製品分類 | カシスエキス加工食品 |
| 製品名 | カシスアイパワーⅡ |
| 特長 | 1. カシスアントシアニン3粒中50㎎配合<br>2. ルテイン3粒中10㎎配合<br>3. アスタキサンチン3粒中2㎎配合<br>4. カシスエキスは株式会社明治Gの原料使用 |
| 内容 | 90粒×3 |
| 定価 | 20,400円 |

### 優待対象02

| | | |
|---|---|---|
| 製品分類 | ヒアルロン酸含有加工食品 | |
| 製品名 | ヒアルロンQプラスⅢ | |
| 特長 | 1. キユーピー社製ヒアルロン酸（ヒアベスト）配合<br>2. 美容系、関節系成分をバランス配合<br>3. 吸収率高めるバイオペリン配合 | |
| 内容 | 80粒×3 | 320粒×2 |
| 定価 | 24,000円 | 58,000円 |

### 優待対象03

| | | |
|---|---|---|
| 製品分類 | コエンザイムQ10含有食品 | |
| 製品名 | Q10Prime（キューテンプライム） | |
| 特長 | 1. コエンザイムQ10を2粒で140㎎配合<br>2. Q10等含有成分の吸収率高めるバイオペリン配合<br>3. アルギニン・カルニチン・シトルリンでパワーアップ | |
| 内容 | 60粒×2 | 240粒×2 |
| 定価 | 13,000円 | 46,000円 |

### 優待対象04

| | |
|---|---|
| 製品分類 | スピルリナ食品 |
| 製品名 | リナヘルスプラス |
| 特長 | 1. 食用藍藻（らんそう）スピルリナ配合の栄養食品<br>2. 緑黄色野菜摂取の難しい方に<br>3. ビタミン・ミネラル類が豊富に |
| 内容 | 1800粒 |
| 定価 | 10,000円 |

### 優待対象05

| | |
|---|---|
| 製品分類 | イチョウ葉エキス加工食品 |
| 製品名 | イチョウ葉Q |
| 特長 | 1. イチョウ葉エキス3粒中120㎎配合<br>2. ルテイン3粒中12㎎配合<br>3. ハーブシールオイル3粒中300㎎配合<br>4. イチョウ葉エキスはドイツ・シュワーベ社製原料 |
| 内容 | 90粒×3 |
| 定価 | 21,000円 |

### 優待対象06

| | |
|---|---|
| 製品分類 | ラブレ菌含有加工食品 |
| 製品名 | ラブレゼリーⅡ |
| 特長 | 1. 1包あたり180億個のナノ型ラブレ菌配合<br>2. ヨーグルト風味のゼリー<br>3. スティックタイプ<br>4. ガラクトオリゴ糖配合<br>5. 難消化性デキストリン配合 |
| 内容 | 30包×3 |
| 定価 | 11,700円 |

### 優待対象07

| | |
|---|---|
| 製品分類 | 大麦若葉末加工食品<br>栄養機能食品（ビタミンB12） |
| 製品名 | プライム青汁＋野菜酵素108 |
| 特長 | 1. 栄養価の高い大麦若葉の新芽のみ使用<br>2. 丁寧な粉砕作業は3回も。超微粒粉砕採用<br>3. およそ108種類の野菜果物で醗酵した「酵素」配合<br>4. 22種類の乳酸菌、ケルセチンを追加配合 |
| 内容 | 90包 |
| 定価 | 8,000円 |

1: 全国の配置販売業者様を通じた販売のみで、小売店等での一般販売はしておりません　2：初回は保有期間による制限はございません

Copyright Daito Pharmaceutical Co., Ltd.

# 【柱5】人的資本への投資

## 県内主要企業でトップの賃上げ率 check

初任給増 半数超28社

県内主要企業アンケート 54社回答

賃上げ8割超の45社

人材確保・定着狙う

| 社名 | 上げ幅 |
|---|---|
| エヌアイシ・オートテック | 30,000円 |
| 北陸銀行 | 25,000 |
| コーセル | 20,000 |
| 大建工業 | 20,000 |
| 富山村田製作所 | 19,000 |
| サクラパックス | 18,000 |
| 北陸電気工事 | 17,000 |
| 中越バルブ工業 | 16,300 |
| 佐藤工業 | 15,000 |
| 高岡信用金庫 | 15,000 |
| 富山第一銀行 | 15,000 |
| 北陸電力 | 15,000 |
| 北陸電気工業 | 13,600 |
| YKK | 12,000 |
| YKK AP | 12,000 |
| 北陸コンピュータ・サービス | 10,500 |
| 富士化学工業 | 10,000 |
| 不二越 | 10,000 |

初任給を1万円以上アップした企業

※2025年度の大学卒の初任給額を回答した33社のうち、24年度から「上げ幅」が大きい順。同額は五十音順

25年度の賃上げ率を回答した36社のうち、5%以上としたのは16社。ダイトが7・0%、北陸電気工業が6・5%程度、富士化学工業と不二越が6・3%など、製造業を中心に引き上げが目立った。

出典: 2025年4月30日_北日本新聞 朝刊 1面

## エンゲージメントサーベイを開始

- 2025年6月に、当社としては初めてのエンゲージメント・サーベイを実施
- 得られたデータを活用し、職場環境の改善、従業員の定着率向上、延いては従業員の意識向上を図る
- 当社の人材定着率は高い（2024年5月期 の離職率（自己都合）は2.8%）が、優秀な人材の獲得と一層の定着率向上を目指す

## オフサイトミーティングの全部門実施

- 各部門で、年1回以上の実施を予算化
- 日常から離れ、戦略的な議論や計画の策定に集中
- 問題解決や課題の共有、コミュニケーションの改善、チームの結束力の強化を図る

## e-ラーニング「Daito Learning」

GMP教育、セキュリティ教育など単目的の e-ラーニングシステムは導入済みだったが、汎用のプラットフォーム導入により、6,000本以上の動画による自己啓発や、会社作成の動画マニュアルによる各種教育などを行うシステムを導入

Copyright Daito Pharmaceutical Co., Ltd.

# DTP2027におけるKGI目標

## DTP2027におけるKGIに対する直近実績と目標

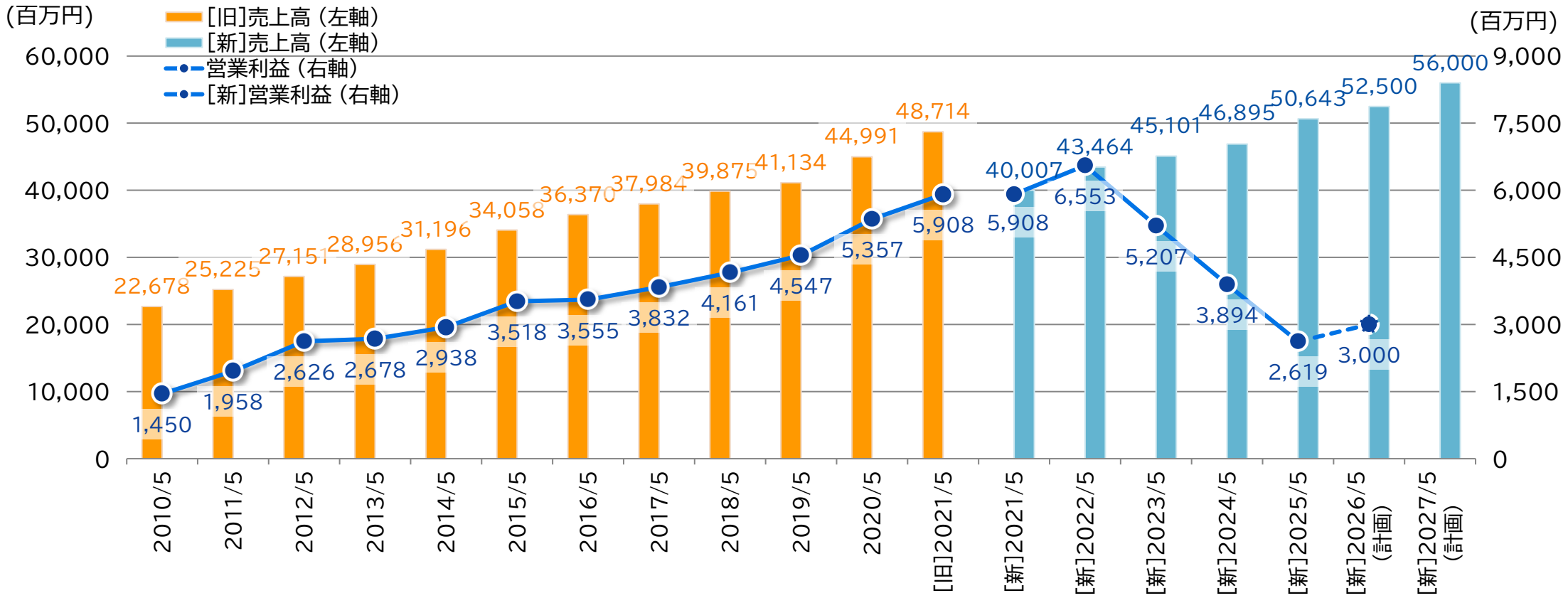
単位：百万円

| | | 2025/5期 実績 | 2026/5期 予想 | 2027/5期 目標 |
|---|---|---|---|---|
| 成長性 | 売上高 | 50,643 | 52,500 | 56,000 |
| 収益性 | EBITDA（EBITDAマージン） | 6,952（13.7%） | 7,750（14.8%） | 10,000（17.9%） |
| | 一気通貫比率 | 65% | 60% | |
| 効率性 | CCC | 246日 | | 220日 |
| 資本生産性 | ROIC | 3.1% | | 5.5～6.5% |
| | ROE | 3.7% | | 7.0～8.0% |
| 株主還元 | DOE | 2.01% | 2%以上（累進配当） | |
| | 為替 | 150.86円 | 150円 | |

Copyright Daito Pharmaceutical Co., Ltd.

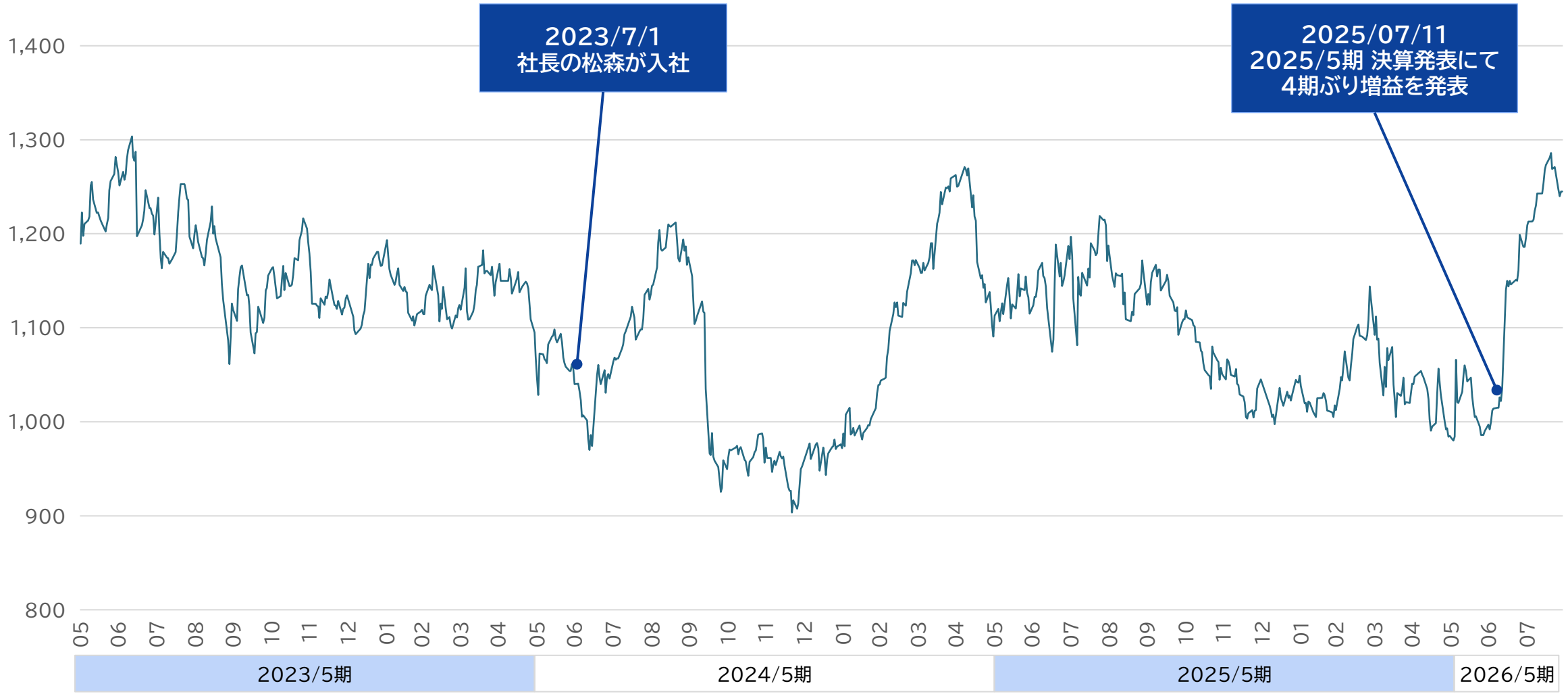
# 業績は底打ち、V字回復へ加速

- 上場以来、実質16期連続で増収を達成。一方で、足元は円安の常態化や品質基準の厳格化、毎年薬価改定等で減益基調に
- 「DTP2027」の着実な進捗により反転攻勢の兆しが鮮明に。今後はV字回復へ




Copyright Daito Pharmaceutical Co., Ltd.

# 株価推移




Copyright Daito Pharmaceutical Co., Ltd.

# ご清聴ありがとうございました

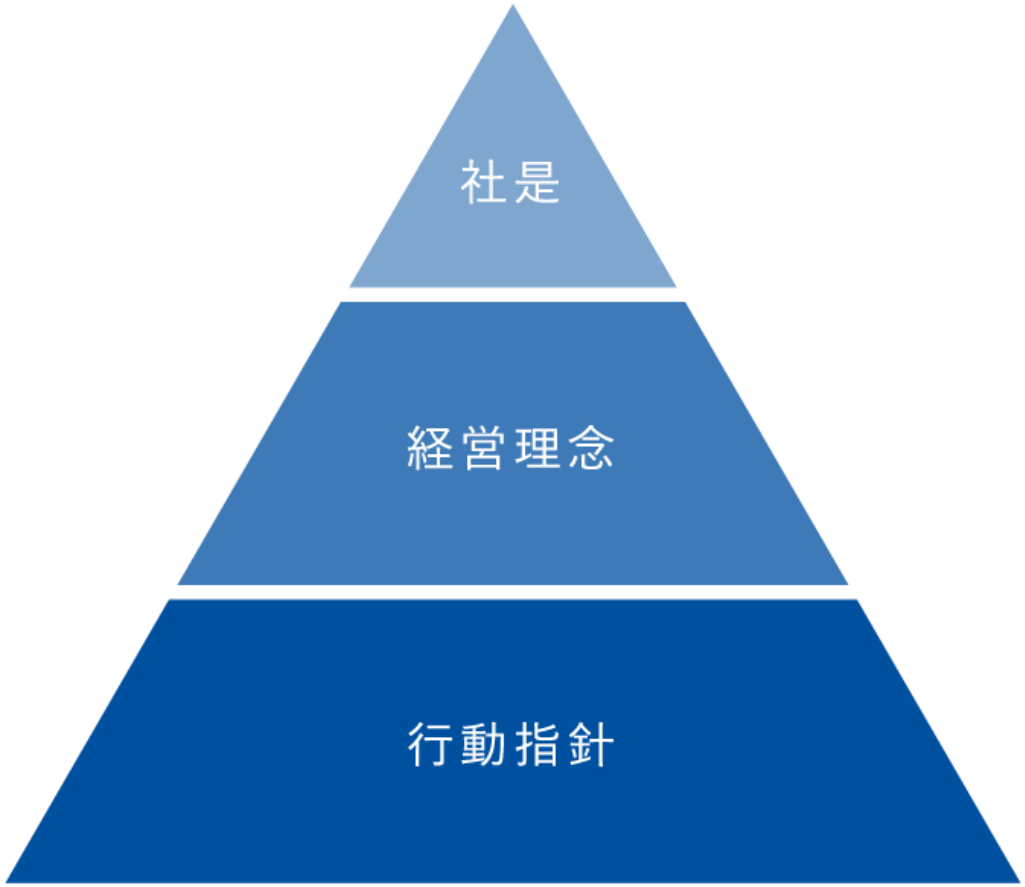
DAITO ダイト株式会社

原薬から製剤まで 医薬品のダイト

DAITO Copyright Daito Pharmaceutical Co., Ltd.

# Appendix. その他参考資料

# 社是・経営理念・行動指針




## 社是

**創造　闘志　誠実**

一、アイデアをもち考える人間

一、実行力と根性のある人間

一、自分は企業を守る人間

## 経営理念

社員が「楽しい会社、楽しい仕事」を実感できる働きやすい職場を作り、健康な社会作りに貢献し、選ばれ続ける企業を目指します。

- **「楽しい会社」とは**
  社員自らの成長と会社の成長が連動し、いきいきと楽しく仕事が出来る会社
- **「楽しい仕事」とは**
  病を治したい患者さんや健康を求めるお客様に役立つように、社会に対して製品を供給する喜びを味わえる仕事

Copyright Daito Pharmaceutical Co., Ltd.

# 社是・経営理念・行動指針

## 行動指針

経営理念のもと、選ばれ続ける企業を目指します。

- **誠実な姿勢**
  法令を遵守し、公正、公平に活動します
- **みなさまからの信頼**
  更なる品質の向上とお客さまへの確実な供給を行います
- **社会への貢献**
  日々の活動を通し、みなさまを支えます
- **環境との調和**
  環境に配慮し、地球とともに歩みます
- **更なる挑戦**
  新たな分野、新たな技術へ挑戦します
- **世界への飛躍**
  世界を舞台として優れた医薬品を提供します

DAITO

ダイト株式会社

当社は、人々の健やかな生活と、
成長を目指し、
高品質な医薬品の安定供給に努め、
日々邁進しています。

**Next Phase**

**選ばれ続ける企業へ**

みなさまからの信頼、
サポートに感謝し、
ずっと選ばれ続ける
企業を目指します。

Copyright Daito Pharmaceutical Co., Ltd.

# 沿革

| | | |
|---|---|---|
| 1942年 | 6月 | 富山家庭薬の東南アジアへの輸出統制会社として大東亜薬品交易統制株式会社を設立<br>※1991年 ダイト株式会社(現社名)に商号変更 |
| 1949年 | 3月 | 配置用医薬品製造を開始 |
| 1950年 | 6月 | 原薬卸業部門を開設し、原薬の販売を開始 |
| 1976年 | 10月 | **医療用医薬品(ジェネリック医薬品)の製造を開始** |
| 1979年 | 11月 | **原薬の製造を開始** |
| 1985年 | 4月 | OTC医薬品の製造を開始 |
| 1987年 | 7月 | 大和薬品工業株式会社を子会社化<br>※2007年10月 株式交換により完全子会社化 |
| 1989年 | 10月 | 原薬の新薬中間体の受託製造を開始 |
| 2001年 | 9月 | **医療用医薬品の受託製造を本格的に開始** |
| 2007年 | 11月 | 米国イリノイ州に駐在員事務所を設置<br>※2008年6月 廃止 |
| 2008年 | 6月 | Daito Pharmaceuticals America, Inc.設立 |
| 2010年 | 3月 | 東京証券取引所市場第2部に上場 |
| 2011年 | 3月 | 〃　第1部に指定 |
| 2012年 | 9月 | 安徽微納生命科学技術開発有限責任公司を子会社化 [ 現社名：大桐製薬(中国)有限責任公司 ] |
| 2022年 | 4月 | 東京証券取引所 プライム市場へ移行 |

## 設備の状況

1949年 事務所・工場を新設

1971年 研究所を富山市に新設
※1985年同研究所を本社工場の隣接地に新設・移転

1979年 第一製剤棟を新設
1985年 第二製剤棟を新設
1989年 第一物流センターを新設
1993年 第三製剤棟を新設
1995年 第二物流センターを新設
2001年 第五製剤棟を新設
2001年 第三物流センターを新設
2003年 第二包装棟を新設
2007年 第三包装棟を新設
2008年 第六製剤棟を新設
2011年 厚生棟を新設
2014年 大桐製薬(中国)に製剤棟新設
2014年 高薬理製剤棟新設
2016年 原薬工業化プロセス研究棟新設
2017年 高薬理R＆Dセンター新設
2018年 第八製剤棟を新設
2021年 品質保証棟を新設
2023年 第十製剤棟を新設
2024年 総合研究センターを新設

1979年 原薬実験棟を新設
1982年 第一原薬棟を新設
1986年 原薬包装棟を新設
1989年 第二原薬棟を新設
1999年 第三原薬棟を新設
2007年 第五原薬棟を新設
2007年 第五物流センターを新設
2012年 第五原薬棟設備を増設
2014年 大和薬品工業㈱に原薬工場棟新設
2015年 第六原薬棟新設
2015年 第三原薬包装棟新設
2022年 第七原薬棟新設

Copyright Daito Pharmaceutical Co., Ltd.